

個別の拠点の将来像の方向性(1/5)



拠点の将来像記載内容の色分は、
その実現に資する下記の戦略の色を示す。



築地

- 水と緑に囲まれた都心の大規模な土地、歴史・文化資源などのポテンシャルを生かしながら、**都心と臨海部を効果的に結びつけ**、東京らしい魅力で世界中から多様な人々を出迎え、交流により、**新しい文化を創造・発信する拠点**を形成
- 水辺の東京を象徴する景観を創出

臨海副都心

- 羽田空港アクセス線**や**臨海地下鉄**の沿線地域では、未処分地、低未利用地の活用による高度利用や**既存施設のリニューアル**を図りながら、世界から人と投資を呼び込む**スポーツ、エンターテインメント、ホテル、エキシビション機能などの融合**した交流拠点が形成され、開発に合わせて屋上や壁面、中間階、バルコニー緑化など**立体的なみどり空間**が充実
- 臨海副都心の都市空間構成をレビューするとともに、**既往計画は次のステージへ移行し**、ニーズに応じた**柔軟かつ複合的な民間開発を誘導し**、**一体的なデザインとマネジメントで個性を深化**
- 屋外広告物を活用したエリアマネジメント支援事業**やプロジェクトマッピングの実施などにより新たなにぎわいが創出

【有明】

- 大会の感動・記憶を形に残し**、広くスポーツに親しむ**記念公園**が整備され、レガシーエリア周辺では、散策ルートや水辺の親水空間が整備された都市環境が形成
- 有明アリーナや有明テニスの森周辺では、民間開発による商業施設、ホテル、ホールなどの豊富な機能集積の相乗効果により、**東京2020大会の競技施設を生かしたスポーツ・ウェルネス・シティが形成**

【台場・青海】

- 東京国際クルーズターミナル**では世界最大級の客船など多くのクルーズ客船が寄港。羽田空港との近接性を活かした**フライ&クルーズ**や、クルーズターミナルから舟運による観光・移動が活発化し、周辺のホテル・商業施設等との連携・交流が進むなど、陸海空の結節機能を活かした**ホスピタリティあふれる観光拠点**が形成
- エリアマネジメントの取組により空間利用が活性化し、**水辺沿いの道路空間等**は、**回遊しやすい歩行者中心の空間**へリノベーションするとともに、まちの象徴である**シンボルプロムナード**は、働く人にも訪れる人にも快適な、にぎわいとゆとりのある柔軟な空間を創出し、**海と緑に調和した親しみやすく、居心地のよい空間**が形成
- 先端技術を担う**スタートアップ**や**eスポーツ関連企業等**が集積し、5G等の**通信基盤整備**や、**自動運転などの最先端技術を実装**することにより、まち全体をショーケース化

個別の拠点の将来像の方向性(2/5)



浜松町・竹芝

- ・ スタートアップを含む民間企業や関係団体との連携による 最先端技術やリアルタイムデータ等を活用したサービス が実装
- ・ バイエリアの他の拠点とつなぐ 舟運 が活性化されるとともに、エリアマネジメントなどにより、帰宅困難者対策、エネルギー連携などの防災対応力が強化
- ・ かつての東京湾の環境を再生した、身近に触れられる干潟の整備などにより、環境教育の場の提供の推進

田町

- ・ 大規模 インキュベーション施設 が整備され、大学を核とした新たな オープンイノベーション が実現し、産学連携の拠点を形成

月島・勝どき

- ・ 臨海地下鉄の沿線地域では、低未利用地の活用により高度利用を図りながら、ビジネスパーソンや外国人を含む様々な人々に対応した都市機能が集積した魅力的な拠点が形成
- ・ 環状3号線の整備により、バイエリアと区部中心部を結ぶ交通・物流ネットワークが強化されるとともに、魅力ある活力とにぎわいの拠点が形成

豊洲・晴海

- ・ 舟運が活性化され、地下鉄8号線延伸、臨海地下鉄、有楽町線、ゆりかもめなどの鉄道ネットワークが充実
- ・ 臨海地下鉄の沿線地域では、低未利用地の活用により高度利用を図りながら、スポーツ、エンターテインメント、ホテル機能などの融合した交流拠点が形成
- ・ 都市OSなどが構築され、データを活用した 観光・モビリティ・イート・ヘルスケア・防災など複数領域横断型サービスが実装
- ・ 既往計画は次のステージへ移行し、ニーズに応じた柔軟かつ複合的な民間開発を誘導
- ・ 東京2020大会後、選手村では住宅や生活利便施設などが立地し、まちのエネルギーとして水素を先導的に導入したエリアなど、大会レガシーが感じられる複合市街地が形成

個別の拠点の将来像の方向性(3/5)



辰巳・東雲

- 東京2020大会の競技会場と辰巳の森海浜公園、夢の島公園などの大規模公園を生かしたスポーツ・レクリエーション施設の整備促進により、ベイエリアのスポーツと体験の一大拠点の一角を形成するとともに、水辺に開かれた都市環境を形成
- 大規模団地の建替えにあわせ、辰巳駅を中心とした交流機能や周辺居住者の生活支援機能の導入や公共公益施設の再配置が促進され、東京2020大会の競技会場周辺で散策ルートや水辺の親水空間が整備された都市環境が形成
- 居住機能と商業・業務機能やサービス等の機能の充実を図り、職住近接を実現する地区として、良好で魅力ある都市環境が形成

夢の島

- 散策路やサイクリングコースなどを通じた夢の島公園と辰巳の森海浜公園との連続性が確保され、水辺空間を生かし、新たなレクリエーション空間が創出

南砂町（新砂）

- 大規模工場跡地の土地利用転換による新たな市街地では、水辺と緑を生かした環境の整備が図られるとともに、都市機能と物流機能のバランスの取れたまちが形成

拠点の将来像記載内容の色分は、その実現に資する下記の戦略の色を示す。



個別の拠点の将来像の方向性(4/5)



中央防波堤

- 海の森公園及び海の森水上競技場では、自動運転のモビリティや舟運などによるアクセス向上が図られ、ダイナミックな景観が眺められる新たなにぎわいの拠点として、連携して活用
- テクノロジーの大規模な実装エリアの創出に向けて、法的・技術的な制約を踏まえながら、自由度の高い実験を展開。また、将来的には第二東京湾岸道路の広域的なアクセス利便性を生かし、将来的な課題解決に資する最先端の研究や新たな技術開発に取り組むスタートアップ企業やショーケース機能が集積した新たなイノベーションを創出する一大拠点が形成し、「自然」と「便利」が融合する持続可能な都市を実現する取組が推進
- 港湾・物流エリアにおいては、コンテナターミナルでの太陽光発電や荷役機械・トレーラー等への燃料電池の導入、デジタル技術による荷役の効率化を通じた環境負荷の低減などによるカーボンニュートラルポートの実現など、中央防波堤埋立地としての一体性も確保しながら先端テクノロジーを実装

新木場

- 都市的な土地利用への転換や空き倉庫等のコンバージョンなどにより、働く人、訪れる人の活動の質を高める複合的な都市機能が導入されるとともに、舟運が活性化され、都市開発に合わせた活力とにぎわいの拠点が形成
- 減災機能を発揮するグリーンインフラの水辺への再生や水害リスクを考慮した土地利用やまちづくりの誘導

若洲

- 競技施設に近接し、ヨット訓練所やゴルフ場、キャンプ場などが立地する若洲は、他のスポーツ施設との連携が進み、スポーツとレクリエーションによる交流エリアを形成

葛西臨海公園駅周辺

- ラムサール条約湿地の登録地として、野鳥や水生生物等の貴重な生息地である干潟が保全され、水族園や海水浴体験ができるなぎさ、カヌー・スラロームセンター等の施設が充実されるとともに、各拠点とつなぐ水上交通ネットワークが形成され、多様な生物や自然と共生し、海と人とがつながる場所
- 流通業務地区では、周辺のまちづくりと調和を図りながら、施設の機能更新・高度化・効率化が進められ、新しい時代のニーズに応える物流拠点を形成

拠点の将来像記載内容の色分は、その実現に資する下記の戦略の色を示す。



本章では、個別の拠点や地域について将来像の一端を示します。良質な住宅ストックや既存施設にも配慮しつつ、東京の次なるステージの都市づくりをリードしていきます。

個別の拠点の将来像の方向性(5/5)



品川・天王洲

- 羽田空港との近接性や、リニア中央新幹線、**品川地下鉄**、駅の再編、環状第4号線の整備などによる利便性の高い広域交通結節点の形成を生かし、**最先端テクノロジーの研究機能**などが集積し、**イノベーションが生まれ続ける国際的な拠点が形成**
- 東京湾からの「**風の道**」の確保、**公園**、緑地、**運河**などを活用した**水と緑のネットワーク**の形成、**下水熱の有効利用**など、環境に関する先端的な取組が進んだまちを形成
- 水辺の活用やアートの展開などのエリアマネジメントが進み、個性豊かな水辺の景観を形成

大井ふ頭中央海浜公園周辺（八潮）

- ダイナミックな港湾機能の景観を楽しめ、非日常的な体験を共有できる場が形成
- ホッケー競技場を含む大井ふ頭中央海浜公園は、**スポーツ施設が集積した総合的なスポーツ・レクリエーション**の場が形成され、他の競技施設と一体となり新たな一大スポーツゾーンが形成

羽田空港周辺

- ビジネスジェット**の受入体制強化など、空港の機能拡充を通じて増大する**航空需要への対応が強化**され、**舟運**や**深夜早朝アクセスバス**などによる多様なアクセスが確保
- 空港と隣接する地区では、**先端・文化産業、情報発信機能、宿泊施設**などが**高度に集積**し、東京と世界や日本各地がつながり、活発な交流が生まれる拠点を形成
- 空港施設**や**使用車両**の**CO2削減**が推進され、再生可能エネルギー活用が加速

京浜島・昭和島・城南島・平和島

- 最先端で高度な産業技術**や工業などの施設の立地が進み、**羽田空港に近接**する立地特性を生かした**産業・ビジネス空間**が創出される際立った個性やポテンシャルを有する地域を形成
- 流通業務地区では、周辺のまちづくりと調和を図りながら、**流通業務施設の機能更新・高度化・効率化**が進められ、新しい時代のニーズに応える物流拠点を形成
- 公園、運河、海辺やその周辺では、**水辺の散策路**や**スポーツ施設**の整備などが進み、ゆとりがあり、スポーツに親しめ、交流の生まれる地域を形成

拠点の将来像記載内容の色分は、
その実現に資する下記の戦略の色を示す。



本章では、個別の拠点や地域について将来像の一端を示します。良質な住宅ストックや既存施設にも配慮しつつ、東京の次なるステージの都市づくりをリードしていきます。